

上毛町教育委員会だより

新体育館の建築工事が始まります

町では、生涯スポーツの推進をはじめ、地域コミュニティの醸成と定住人口の増加に向け、老朽化が進む農業者トレーニングセンターと健康増進施設の2館を集約し、多様な交流を促進する新しい体育館を建設します。メインとサブの2つのアリーナを緩やかに周遊できる∞型スロープでつなぎ、出会いと交流が生まれる活気あふれる空間をつくることで、人々の日常に溶け込み、地域の皆さんに親しまれ町のシンボルとなるコミュニティ型の体育館を目指します。

- 名称 体育館新築工事
- 場所 上毛町大字安雲
(農業者トレーニングセンター跡地)
- 施工 東洋建設株式会社 北九州営業所
- 監理 株式会社 NAP建築設計事務所
- 工期 令和3年8月5日から
令和5年2月10日まで

※工事期間中は、周辺の皆さまにご迷惑をおかけしますが、安全に十分配慮いたしますので、ご理解とご協力をお願いします。

主要諸室概要

1F	項目	面積
	メインアリーナ	1,086.02 m ²
	サブアリーナ	505.82 m ²
	会議室・研修室	102.27 m ²
	交流・休憩スペース	433.98 m ²
	更衣室、シャワー室	86.15 m ²
	事務管理室	63.67 m ²
	器具庫	324.32 m ²
	備蓄倉庫	43.04 m ²
	トイレ	104.88 m ²

2F	項目	面積
	キッズスペース	51.89 m ²
	喫茶コーナー	120.77 m ²
	トレーニングルーム	144.24 m ²
	談話スペース	61.08 m ²
	ランニングコース	148m
	トイレ	31.28 m ²

●問い合わせ先 上毛町教育委員会 教務課 社会教育係 TEL 72-3165(内線172)



※完成イメージ (設計/NAP建築設計事務所)

広島・長崎爆心地中間点上毛町 「未来へつなぐ平和の架け橋事業」

令和元年度に大池公園内に被爆樹木二世を植樹し、平和記念式典において「広島・長崎爆心地中間点上毛町平和宣言」を行い、核兵器廃絶・世界恒久平和に向けた新たな発信拠点として、平和事業を開始しています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して、「原爆ポスター展」と「献花式」を実施しました。

「原爆ポスター展」

世界恒久平和に向けた取り組みの一環として、原爆被害の悲惨さを伝えるため、6月14日(月)から7月30日(金)までの期間、町内小学校、げんきの杜、大平支所及び役場にて「原爆ポスター展」を開催し、数多くの小学生や町民の皆さんにご覧いただきました。



「献花式」

広島に原爆が投下された8月6日(金)に、町長をはじめ5名が出席し、大池公園内にある被爆樹木二世を植樹した「広島の高」・「長崎の丘」及び「記念モニュメント」前にて、献花式を行いました。

当日は、原爆犠牲者への追悼と世界の恒久平和を祈念して黙とうし、その後出席者全員が献花を行いました。

